

オーストラリア・ リアルアセット・ ファンド

運用報告書（全体版） 第5期

（決算日 2019年2月4日）
（作成対象期間 2018年8月4日～2019年2月4日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	5年間（2016年8月4日～2021年8月3日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ．オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ．オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みません。） ハ．オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
1期末 (2017年2月3日)	円 10,081	円 80	% 1.6	11,832	% 18.3	10,039	% 0.4	% 46.4	% -	% 50.7	百万円 100
2期末 (2017年8月3日)	10,810	0	7.2	12,503	5.7	10,452	4.1	14.2	-	73.5	108
3期末 (2018年2月5日)	10,844	0	0.3	13,487	7.9	10,884	4.1	18.1	-	74.2	108
4期末 (2018年8月3日)	10,880	0	0.3	13,277	△ 1.6	11,136	2.3	18.0	-	75.9	1
5期末 (2019年2月4日)	11,039	0	1.5	12,264	△ 7.6	11,503	3.3	18.7	-	75.9	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：10,880円

期末：11,039円（分配金0円）

騰落率：1.5%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働きました。米中間での貿易政策をめぐる緊張感の高まりや世界経済の減速懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まる中、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は、安全資産として投資家の注目が高まり、堅調に推移しました。一方で、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどを背景にオーストラリア・ドルが対円で下落したことがマイナスに働きました。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		S & P オーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
(期首)2018年 8 月 3 日	円 10,880	% -	13,277	% -	11,136	% -	18.0	% -	75.9
8 月 末	10,907	0.2	13,331	0.4	11,284	1.3	16.9	-	76.4
9 月 末	10,958	0.7	13,245	△ 0.2	11,301	1.5	17.4	-	76.8
10 月 末	10,437	△4.1	12,201	△ 8.1	10,840	△2.7	17.4	-	76.8
11 月 末	11,044	1.5	12,607	△ 5.0	11,480	3.1	17.7	-	76.5
12 月 末	10,552	△3.0	11,535	△13.1	10,939	△1.8	18.2	-	76.1
2019年 1 月 末	11,064	1.7	12,280	△ 7.5	11,696	5.0	18.4	-	76.0
(期末)2019年 2 月 4 日	11,039	1.5	12,264	△ 7.6	11,503	3.3	18.7	-	75.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.8.4～2019.2.4)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリア・リアルアセット市況は堅調に推移しました。

当作成期首から2018年9月半ばにかけて、企業決算において好調なファンダメンタルズが確認された物流施設リートやオフィスリートなどを中心に、堅調な推移となりました。9月半ばから10月にかけては、堅調な米国経済を背景に米国長期金利が上昇したことや、米国の中間選挙を前にした米国金利上昇の影響や欧州の政治リスク、中国経済の減速、米中間の貿易摩擦などを背景に、軟調な推移となりました。11月から当作成期末にかけては、大きな波乱なく米国の中間選挙を終え、不確定要素が一つ消えたことによる安心感などから投資家のリスク回避姿勢が後退したこと、原油価格の下落や世界経済の減速懸念などから長期金利が下落傾向になったことなどを背景に、堅調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドル為替相場は対円で下落しました。

当作成期首から2018年9月前半にかけて、米中間での貿易政策をめぐる緊張感の高まりなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。また、トルコ・リラが急落するなど新興国を中心に投資家のリスク回避姿勢が強まったことも、オーストラリア・ドルにはネガティブに働きました。9月後半から11月にかけては、米国の中間選挙が大きな波乱なく終わり、米中間の貿易摩擦改善への期待が高まったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。12月から2019年1月初めにかけては、米中の貿易摩擦への懸念の高まりや世界経済の減速懸念、欧州の政治リスクなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。1月初めから当作成期末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が今後の利上げについて慎重姿勢を示したことなどから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2018.8.4～2019.2.4)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

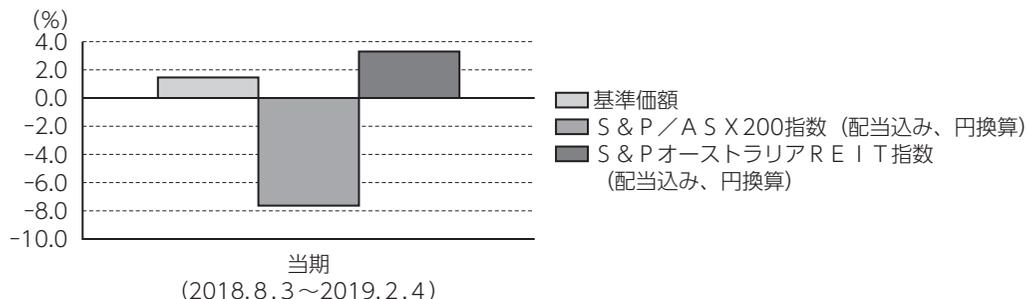
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年8月4日 ～2019年2月4日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,060

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.8.4~2019.2.4)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	87円	0.813%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,756円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.397)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.397)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.019)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.041	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.005)	
(投資信託証券)	(4)	(0.036)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	9	0.083	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.043)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	101	0.937	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期における売買および取引の状況はありません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

項 目	当 期
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	78,223千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	649,399千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.12

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定時における取得
1	-	-	1	

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	□ 数
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	千口	千口	千口	千円
	920	920	920	1,071

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年2月4日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	千円 1,071	% 96.3
コール・ローン等、その他	41	3.7
投資信託財産総額	1,112	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月4日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=79.18円、1ニュージーランド・ドル=75.50円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,543,612千円)の投資信託財産総額(3,557,810千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年2月4日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,112,766円
コール・ローン等	41,497
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	1,071,269
(B) 負債	8,843
未払信託報酬	8,658
その他未払費用	185
(C) 純資産総額(A - B)	1,103,923
元本	1,000,000
次期繰越損益金	103,923
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当り基準価額(C / D)	11,039円

* 期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,039円です。

■損益の状況

当期 自2018年8月4日 至2019年2月4日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3円
支払利息	△ 3
(B) 有価証券売買損益	24,774
売買益	24,774
(C) 信託報酬等	△ 8,843
(D) 当期損益金(A + B + C)	15,928
(E) 前期繰越損益金	87,995
(F) 合計(D + E)	103,923
次期繰越損益金(F)	103,923
分配準備積立金	106,043
繰越損益金	△ 2,120

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,088円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	88,955
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	106,043
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	106,043
(h) 受益権総口数	1,000,000口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第5期 (決算日 2019年2月4日)

(作成対象期間 2018年8月4日～2019年2月4日)

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

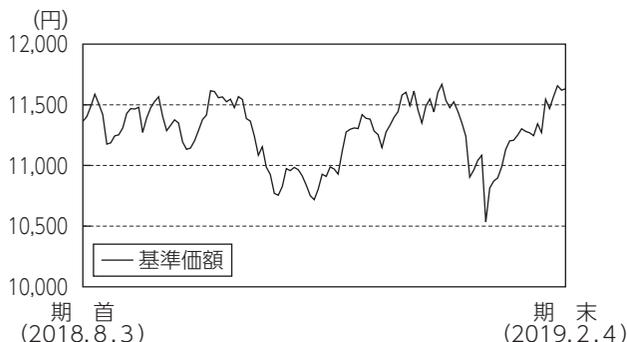
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
	円	%	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2018年 8 月 3 日	11,363	-	13,277	-	11,136	-	18.7	-	78.9
8 月末	11,407	0.4	13,331	0.4	11,284	1.3	17.5	-	79.3
9 月末	11,477	1.0	13,245	△ 0.2	11,301	1.5	18.1	-	79.6
10 月末	10,928	△ 3.8	12,201	△ 8.1	10,840	△ 2.7	18.0	-	79.6
11 月末	11,603	2.1	12,607	△ 5.0	11,480	3.1	18.3	-	79.0
12 月末	11,083	△ 2.5	11,535	△ 13.1	10,939	△ 1.8	18.8	-	78.7
2019 年 1 月 末	11,657	2.6	12,280	△ 7.5	11,696	5.0	19.0	-	78.3
(期末)2019 年 2 月 4 日	11,632	2.4	12,264	△ 7.6	11,503	3.3	19.2	-	78.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,363円 期末：11,632円 騰落率：2.4%

【基準価額の主な変動要因】

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇したことがプラスに働きました。米中間での貿易政策をめぐる緊張感の高まりや世界経済の減速懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まる中、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は、安全資産として投資家の注目が高まり、堅調に推移しました。一方で、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどを背景にオーストラリア・ドルが対円で下落したことがマイナスに働きました。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリア・リアルアセット市況は堅調に推移しました。

当作成期首から2018年9月半ばにかけて、企業決算において好調なファンダメンタルズが確認された物流施設リートやオフィスリートなどを中心に、堅調な推移となりました。9月半ばから10月にかけては、堅調な米国経済を背景に米国長期金利が上昇したことや、米国の中間選挙を前にした米国金利上昇の影響や欧州の政治リスク、中国経済の減速、米中間の貿易摩擦などを背景に、軟調な推移となりました。11月から当作成期末にかけては、大きな波乱なく米国の中間選挙を終え、不確定要素が一つ消えたことによる安心感などから投資家のリスク回避姿勢が後退したこと、原油価格の下落や世界経済の減速懸念などから長期金利が下落傾向になったことなどを背景に、堅調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドル為替相場は対円で下落しました。

当作成期首から2018年9月前半にかけて、米中間での貿易政策をめぐる緊張感の高まりなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。また、トルコ・リラが急落するなど新興国を中心に投資家のリスク回避姿勢が強まったことも、オーストラリア・ドルにはネガティブに働きました。9月後半から11月にかけては、米国の中間選挙が大きな波乱なく終わり、米中間の貿易摩擦改善への期待が高まったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。12月から2019年1月初めにかけては、米中の貿易摩擦への懸念の高まりや世界経済の減速懸念、欧州の政治リスクなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。1月初めから当作成期末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が今後の利上げについて慎重姿勢を示したことなどから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、オーストラリアで都市部を中心に大型のショッピングモールを運営するSCENTRE GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	5円 (1) (4)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (3) (5)
合計	13

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 (180.91)	千オーストラリア・ドル — (6)	百株 460	千オーストラリア・ドル 970
	ニュージーランド	百株 (△ 16)	千ニュージーランド・ドル — (△3)	百株 —	千ニュージーランド・ドル —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 295 (179.733)	千オーストラリア・ドル 832 (628)	千口 1,301.22 (—)	千オーストラリア・ドル 6,121 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

当					期				
買			付		売			付	
銘柄	株数	金額	平均単価		銘柄	株数	金額	平均単価	
	千株	千円	円			千株	千円	円	
					AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	46	78,223	1,700	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年8月4日から2019年2月4日まで)

当					期				
買			付		売			付	
銘柄	口数	金額	平均単価		銘柄	口数	金額	平均単価	
	千口	千円	円			千口	千円	円	
DEXUS (オーストラリア)	45	37,165	825		APA GROUP (オーストラリア)	120	94,401	786	
RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	100	16,964	169		STOCKLAND (オーストラリア)	220	71,816	326	
CROMWELL PROPERTY GROUP (オーストラリア)	150	12,498	83		TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	74	70,047	946	
					SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	330	61,287	185	
					UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI (フランス)	55.94	54,446	973	
					GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)	90	27,254	302	
					ARENA REIT (オーストラリア)	126.509	23,890	188	
					CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	81.771	19,903	243	
					GPT GROUP (オーストラリア)	40	17,036	425	
					CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	30	16,520	550	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	5,770	5,950.91	984	77,982	公益事業
AGL ENERGY LTD	1,365	905	1,951	154,494	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,875.32	1,875.32	1,258	99,635	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	9,010.32 3銘柄	8,731.23 3銘柄	4,194 332,112 < 9.4%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	3,630	3,630	1,306	98,663	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	590	209	15,813	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	4,064.03	4,064.03	1,074	81,157	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	116	72	5,500	公益事業
TILT RENEWABLES LTD	16	-	-	-	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	3,280	3,280	1,981	149,574	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,696.03 6銘柄	11,680.03 5銘柄	4,645 350,709 < 9.9%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	20,706.35 9銘柄	20,411.26 8銘柄	- 682,821 <19.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

銘柄	期首		期末	
	□ 数	□ 数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
INVESTA OFFICE FUND	千口 50	千口 27	千円 -	千円 -
CHARTER HALL RETAIL REIT	27	-	121	9,641
MIRVAC GROUP	764	764	1,833	145,184
STOCKLAND	806.055	586.055	2,203	174,478
ABACUS PROPERTY GROUP	90	90	331	26,224
GOODMAN GROUP	363.1	350.1	4,068	322,117
VICINITY CENTRES	523	523	1,354	107,254
CHARTER HALL GROUP	206	176	1,448	114,690
オーストラリア・ドル 通貨計	□ 数、金額 銘柄数<比率>	9,308.231 28銘柄	8,481.744 28銘柄	34,965 2,768,585 <78.0%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	84	6,344
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	33	2,528
ニュージーランド・ドル 通貨計	□ 数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	117 8,873 < 0.3%>
合計	□ 数、金額 銘柄数<比率>	9,388.203 30銘柄	8,561.716 30銘柄	- 2,777,458 <78.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年2月4日現在

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	□ 数	□ 数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
CHARTER HALL EDUCATION TRUST	224.468	230.809	722	57,202
CROMWELL PROPERTY GROUP	124	293.076	310	24,598
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	219.999	148.467	408	32,327
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	183.129	183.129	384	30,450
RURAL FUNDS GROUP	-	101.19	222	17,626
VIVA ENERGY REIT	30	30	67	5,344
PROPERTYLINK GROUP	618.431	618.431	717	56,802
CENTURIA METROPOLITAN REIT	411.314	411.314	978	77,511
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	81.94	26	321	25,445
TRANSURBAN GROUP	352.405	332.862	4,064	321,806
SYDNEY AIRPORT	437	417	2,748	217,589
APA GROUP	331.847	211.847	1,965	155,663
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	834	504	1,234	97,771
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	402.876	343.919	1,317	104,296
NATIONAL STORAGE REIT	444.255	435.303	781	61,868
SCENTRE GROUP	656	656	2,578	204,132
ARENA REIT	613.168	502.998	1,348	106,737
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	102.544	102.544	315	25,007
BWP TRUST	57	57	208	16,518
DEXUS	100	145	1,667	132,032
GPT GROUP	254.7	214.7	1,240	98,259

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 682,821	% 19.2
投資信託証券	2,777,458	78.1
コール・ローン等、その他	97,530	2.7
投資信託財産総額	3,557,810	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月4日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=79.18円、1ニュージーランド・ドル=75.50円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,543,612千円)の投資信託財産総額(3,557,810千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年2月4日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,571,269,552円
コール・ローン等	69,280,949
株式(評価額)	682,821,343
投資信託証券(評価額)	2,777,458,595
未収入金	13,471,310
未収配当金	28,237,355
(B) 負債	22,071,712
未払金	13,458,900
未払解約金	8,600,000
その他未払費用	12,812
(C) 純資産総額(A - B)	3,549,197,840
元本	3,051,116,356
次期繰越損益金	498,081,484
(D) 受益権総口数	3,051,116,356口
1万口当り基準価額(C / D)	11,632円

* 期首における元本額は3,530,435,325円、当作成期間中における追加設定元本額は70,599,166円、同解約元本額は549,918,135円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用) 3,050,195,388円、オーストラリア・リアルアセット・ファンド920,968円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,632円です。

■損益の状況

当期 自2018年8月4日 至2019年2月4日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	87,683,875円
受取配当金	87,545,388
受取利息	144,912
支払利息	△ 6,425
(B) 有価証券売買損益	△ 634,541
売買益	217,076,337
売買損	△217,710,878
(C) その他費用	△ 2,381,249
(D) 当期損益金(A + B + C)	84,668,085
(E) 前期繰越損益金	481,294,430
(F) 解約差損益金	△ 75,781,865
(G) 追加信託差損益金	7,900,834
(H) 合計(D + E + F + G)	498,081,484
次期繰越損益金(H)	498,081,484

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。